

平成 24 年救急・火災報告

平成 24 年中の松前消防署管轄内の救急・火災件数をまとめました。

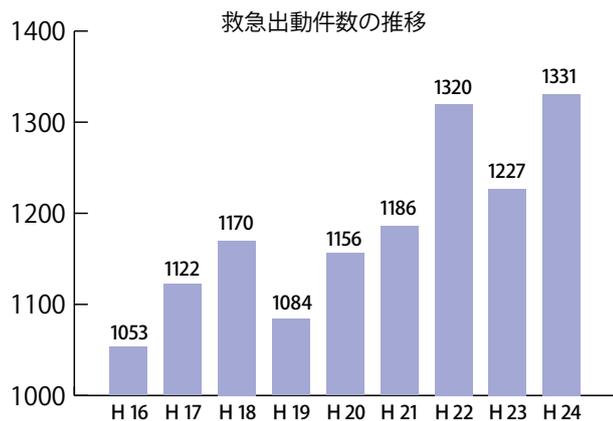
救急出動 1331 件

救急出動件数は 1331 件で、前年より 104 件増加しています。これを救急搬送人員(1276 人)で見ると、軽症 676 人(全体比 53%) 中等症 442 人(全体比 35%)、重症、死亡 158 人(全体比 12%) でした。軽症の割合が 50%を超えています。

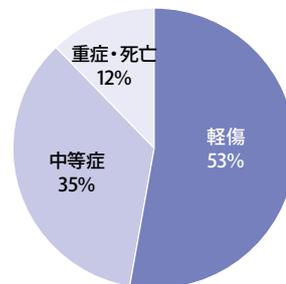
救急車の不適切利用の具体的な定義はありませんが、例えば、皆さんの家族が病院の待合室で長時間待っているときに、元気そうな人が救急車で搬送されてきたら、どんな気持ちになりますか？

そういったことを考えると、自然と不適切利用は減少すると思います。

助かる命を無駄にしないためにも、皆さんのご協力をお願いします。



平成 24 年中の緊急搬送者傷病程度の内訳



軽 傷…入院加療を必要としないもの
中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
死 亡…診察時に死亡が確認されたもの

火災出動 11 件

火災件数は 11 件、火災損害額は 849 万 9 千円(調査中の 1 件は除く) でした。内訳は、建物火災 7 件、車両火災 1 件、その他火災 3 件。火災による死者は 1 人、負傷者は 1 人でした。

出火原因別でみると、放火による火災(疑い含む) 5 件、たばこによる火災 2 件、たき火による火災 1 件、

その他の火の粉による火災 1 件、乾燥機による火災 1 件、調査中 1 件となっています。

全国的にも町内でも、出火原因は放火が最も多いため、今一度、放火をさせないまちづくりを心掛けましょう。放火対策については、昨年の広報まさき 11 月号に掲載していますので参考にしてください。